

Chromebook を活用したディベート活動 (NEW HORIZON English Course 2 Unit3 My Future Job)

①話・や

②個・表

②協・整

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④Google Jamboard

「Chromebook の有効利用」

①「Google Jamboard を活用した主張の整理」

最初に、Jamboard を利用する。各自1枚与えられた Jamboard に表現したい内容と根拠内容を貼り付ける。それを賛成派・反対派グループ内で見合い、さらによい表現やアドバイス、感想を書いた付箋を貼り交流をする。賛成派・反対派の中で共有することで、主張したい内容を深めたり、伝えたい表現の幅を広げたりすることができる。

②「分かりやすく説明するためのスライド作成」

次に、伝えたい内容を相手に分かりやすく説明するため、写真や単語のみを画面に表示するなどの工夫を行い、スライドを作成する。

③「指導者による評価」

最後に、ディベートを撮影し、後日指導者がそれを評価する。

【実践の目標】

不完全なロボットについて、根拠を基に、自分の意見を伝えることができる。

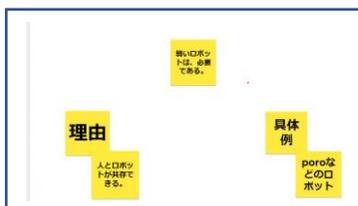
【実際の場面】

1. テーマについて賛成か反対かを決め、理由となる根拠内容を調べる

「不完全なロボットが必要だ」というテーマについて、賛成か反対かを決め、立論の根拠となる内容を図書資料やインターネットを活用して調べた。

2. Google Jamboard を活用する

各自与えられた Jamboard を利用し、調べた内容や伝えたい表現を付箋に書いて貼った。



3. グループ内で交流する

各自作成した Jamboard を、賛成グループ、反対グループ内で共有し、さらによい表現やアイデア、アドバイス等を付箋に書いて交流した。その後、自分のボードに貼られた付箋を参考に、自分の根拠文や表現を練り直した。

4. ディベートの練習をする

Jamboard を参考に練り直した表現や想定した立論に対する反論内容について話し合い、練習を行った。

5. ディベートに向けて準備を行う

立論の準備として、根拠内容を基に主張したい内容についてスライドを作成した。その際、相手に伝わりやすいように、文字だけでなく写真や記号を利用して内容をまとめた。

6. ディベートの練習試合を行う

提出された動画から、指導者がよいやり取りをしていたグループを選び、全体で共有した。その後、どのような点がよかったか、指導者からのフィードバックを行った。

7. 評価を行う

後日、教師用フォルダに提出された動画と各生徒が作成した Jamboard について指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- Jamboard を活用し、賛成派・反対派ごとのグループ内で互いに意見を交流することで表現の幅と質が向上した。
- スライドを活用することで、自分たちの主張が相手により伝わりやすくなった。
- 提出された動画を評価することにより、これまで難しかった「話すこと」の評価を指導者のタブレット上で行うことができるようになった。

【課題】

- 生徒が撮影した動画を基に評価するため、より明確なルーブリックを作成するなど、評価の精度を上げていく必要がある。

竹原市立忠海学園



Point 1

become more efficient

より効率的になる

because it works faster

動作が早いから

In the US, drones are dropping pesticides to improve efficiency

米国では、効率を改善するためにドローンが農薬を投下しています

Point① Robot and human live together.

Because

1. cooperate.
2. help each other.
3. communicate with us.

